学校番号	1205

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	Joy of Music （教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

●音楽の学習は主体的(自分から求めて動く)に行ってほしいと思います。そして自分自身を表現できることの楽しさや、音楽に対する豊かな感性を身につけましょう。
●音楽Ⅰ・Ⅱで学習した内容をさらに深め、「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」のそれぞれの分野を学習します。芸術音楽だけでなく、幅広くポピュラー音楽等も取り入れます。卒業してからの音楽体験にぜひつなげてほしいと思います。
●年に１度授業発表会を行います。
●評価は、出席及び取り組み状況・ワークシート等の状況・実技テストで行います。

2　学習の到達目標

○音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

【知識及び技能】

あらゆる国や郷土の文化や伝統音楽に対する理解を深め、音楽に対する価値意識を高めている。また、それに基づいて創意工夫を生かした個性豊かな音楽の能力を高め技能で表現することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

音楽を形作っている要素や同士の関連を知覚し、それらを音楽的思考で感受しながら、グループ活動等を通じて他者と協調しながら音楽表現を工夫している。

【学びに向かう力、人間性等】

あらゆる国や郷土の文化や伝統音楽に対する理解を深め、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・あらゆる国や郷土の文化や伝統音楽に対する理解を深め、音楽に対する価値意識を高めている。【知識】 ・音楽に対する価値意識を高め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、自身の解釈を持って個性豊かな音楽表現を行っている。【技能】	・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらを音楽的思考で感受しながら、グループ活動等を通じて他者と協調しながら個性豊かな音楽表現を工夫している。	・あらゆる国や郷土の文化や伝統音楽に対する理解を深め、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱力を高めよう	【歌唱】 「Progress」 「島人ぬ宝」 「卒業写真」 「ロマンチストの豚」 「Sento nel core」 他	a:【知】楽曲の表現内容(文化的・歴史的背景との関わりや言語の特性を含む)を総合的に理解している。 【技】心情や場面の状況を考え、表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、読譜などの技能を身に付け、正確な発音で表現している。 b:あらゆる特性を知覚し、それらの働きによる特殊な雰囲気などを感受しながら、楽曲の表現内容を総合的に理解して、どのように歌うか表現意図をもっている。また、自身の知る世界の楽曲について積極的に意見を述べようとしている。 c:楽曲の表現内容に関心を持ち、豊かな声量で主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	器楽でアレンジ演奏を楽しもう	【器楽】 ・打楽器, キーボード, ハンドベル等 ・練習曲およびコード学習 (C, Am, G, F, D7) ・クラシックギター 「オーラリー」 他	a:【知】リズムとメロディー・和音について知り、それらの関わり合いについて理解を深めている。 【技】適切な奏法と創意工夫を生かしたアレンジで楽曲を演奏している。 b: メロディー及び4つ以上のコード(C・Am・G・F・D7)の和音の響きを感受し、適切な指使いで弾こうとしている。 c:既習内容を復習しながら主体的・協働的に器楽の応用演奏学習に取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
2学期	合唱を楽しもう	【合唱】 ・「民衆の歌」 ・「Sound of music」より 「Do-Re-Mi」 (ミュージカル形式) 他	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現・合唱表現の特徴を理解している。 【技】音楽記号や和音を理解して表現につなげる技能を身に付けている。 b. 楽曲と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持って、意欲的に歌おうとしている。 c: 楽曲の表現内容に関心を持ち、一定以上の声量で主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	歌唱発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート

	和楽器のアンサンブルに挑戦しよう	【器楽】 箏 ・練習曲 ・「荒城の月」 他	a:【知】「強押」、「弱押」、「合わせ指」の奏法を理解して楽曲の特性を理解している。 【技】「強押」、「弱押」、「合わせ指」を的確に演奏し、アンサンブルで表現する技能を身に着けている。 b:「強押」、「弱押」、「合わせ指」の響きを感受し、適切な奏法で弾こうとしている。 c:既習内容を復習しながら主体的・協働的に箏アンサンブルに取り組もうとしている。	実技発表	実技 進捗 状況	観察 ワーク シート
	表現の特徴を理解しよう	【鑑賞】 ・ミュージカル 「オペラ座の怪人」 「レ・ミゼラブル」　他 【創作(知的理解教材)】 ・場面や音楽を選んでポスター制作	a:【知】登場人物の心情や場面の状況が、音楽でどのように表現されているのか、同じメロディーの連用による効果を理解し、それらをポスターで表現している。 b:音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構造を知覚し、その働きを感受しながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:物語と音楽の関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート ポスター	ワーク シート	観察
3 学 期	自由研究　授業発表会を企画して発表しよう	【プログラム企画】 ○授業発表会の企画及び準備 【学年末実技試験】 ○授業発表会(発表会形式で評価)	a.【知】グループで楽曲の背景や難易度を考慮してプログラムを企画し活動に生かせている。 【技】企画したプログラムに沿って計画的に練習しグループ発表で成果を発揮できている。 b：技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c:主体的・協働的に演目の練習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワーク シート	観察 ワーク シート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度